

# 会 議 報 告 書

## 1. 会議等件名

令和3年度第1回金ケ崎町総合計画審議会

## 2. 会議開催日時及び場所

令和3年9月17日（金） 13:30～15:10

大会議室

## 3. 会議出席者名

総合計画審議会委員 16名（欠席委員：高橋範夫委員、高橋清明委員、菊地成壽委員、小石川幸司委員）、副町長、企画財政課長、主幹、主査、報告者

## 4. 会議決定事項等

「第10次総合発展計画」及び「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価と「地域再作計画の取組状況の素案」に対して意見を伺ったもの。

詳細については、以下のとおり。

### ◆会長挨拶（齋藤教授）

・今回は第1回目の総合計画審議会と言うことで、これまでの総合計画を見直して理解を深めることを踏まえて皆さんの意見を伺いたい。

### ◆町長挨拶

・金ケ崎町の経営計画の中で最上位はこの総合計画でございます。第11次の総合計画につきましても、皆さんからお力をいただき令和3年度からスタートしております。今回は令和2年度までの第10次総合発展計画の総括をしながら長期的な展望に立っていろいろな課題解決をし、第11次の総合計画につながればと思っております。そういう意味ではこのようにPDCAこれをしっかりマネジメントしまして、次に繋ぐ総括をしていただくのが本日の会議の目的でございます。委員の皆さんからは、それぞれの分野からの金ケ崎町政の経営についてお力をいただいておりますし、金ケ崎町は33市町村の中で特徴のある、そして安定性と成長性のある経営を目指してやっております。そこには、皆さんと町民の総力を挙げてお力をいただいております。私どもは、自治体の経営体として、自立性と主体性を持って取り組まなければならない。特にも町民の皆さんには将来明るい、そして魅力のある町を作らなければならないという責務を持っていると思っております。その中で計画がどう実行され、どう次の展開に繋がるかが課題でございますので、ご意見とまとめをいただければ幸いです。大きな課題であります少子高齢化。それから、地域における世帯数は増えているけれども、人口が減っているというアンバランス。産業の面から言いますと、開発は各地区それぞれ進んでおります。住宅着工も進んでおります。しかし、コロナの問題で地域コミュニティ、あるいは地域での諸行事、町のイベントも開催しかねております。時代の大きな変化に対する新たな対応、さらには、デジタル社会に伴う町民への行政サービスの在り方、職務執行のあり方、色々な課題を解決しなけ

ればと思っております。それを含めまして、皆さんがそれぞれの専門の立場、分野の方々ですので率直な立場で総括をいただければと思います。そしてまた、第11次総合計画と合わせながら地方再生のそれぞれの計画に取り組んでおります。その取り組みの1つが、健康ポイント事業でございます。そしてもう1つは、企業版ふるさと納税のことについても、着手をしながら企業との連携、住民サービスの向上に繋がるような対応をしておりますので、十分論議とご意見をいただいで進めさせていただければ幸いかと思います。最後になりますが、県は非常事態宣言を解除をいたしました。しかし、私たちは気を緩めることなく感染防止に努めながら、デルタ株のような新しいのが出てきてございます。そういう中で、おかげさまで私どものワクチン接種は、高齢者については8月、9月、そして10月予定で、そして12歳以上については10月で終われるように対応しているところです。12歳から15歳までの方々については、保護者の同意が必要ですので、ゆっくりと考えていただきながら安全性も確認しながらという部分でございます。予定通り進んでおりますので、2回目を終われば、国は3回目接種の審議が始まるということですので、3回目の対応もできるように努力してまいりたい。以上、申し上げさせていただきましたが、皆さんの力でこの計画が計画倒れではなくて、計画以上の成果が生まれるようなご尽力とご指導を賜れば幸いです。

#### ◆会議成立

委員20名中、16名の出席により、総合計画審議会条例6条第2項の規定により、会議は成立。

#### ◆説明

事務局から別添資料について説明。

#### ◆協議

(1)「第10次総合発展計画」及び「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について

【会長】まず、11次の総合発展計画が始まって半年近くなる状況でございます。新型コロナウイルスが蔓延する中で、様々な課題があります。冒頭の資料1-1をご覧ください。冒頭のところで人口動態の話がありまして、社会増が令和2年度に増えている。自然動態は、合計特殊出生率は若干上がっていますが、高齢化による自然減が避けられない状況である。人口ビジョンからすると、まだマイナスのところもあって人口も減少している。ただ、資料にもありましたが社会増のほうは今後も発展が見込まれる状況です。社会増の中で今回出てきていませんが、金ケ崎町は若い女性の目先がほとんどないという状況がありまして、20～24・5歳の女性たちの転出がみられる。合計特殊出生率も下がってまいりますし、様々な手立てをどのように考えるか。第11次の総合計画の中でも取り組まれている課題ですので、その中で改めて考えなければいけないのかなと思います。

#### 【A委員】

- ・ごみの排出量の増加とリサイクル率の減少に対して、何のためにごみ処理手数料の有料化をするのかの関係性が不明である。
- ・スマート農業は畜産だけに限ったことではないので、ここへの記載は適切なのでしょうか。

**【B 委員】**

・アンケート調査の 21 ページ。住みにくいと回答した方が、2009 年に 10.8%だったものが 2021 年には 13.5%となっている。何か理由はあるのか。

**【会長】**

・交通事情が悪い。道路事情が悪くなっているという印象がある。

**【事務局】**

・今回のアンケートは今年の 3 月 3 日～17 日で実施しております。それで顕著に表れたのが除雪の部分です。12 月の大雪の際の道路事情が影響しています。

**【C 委員】**

・農業の情勢が相当変わってきている。現実これから策定するにあたって何年スパンで物事を考えるべきか非常に難しい。

**【会長】**

・私、青森から来ていますが、全農の米価が出まして津軽ロマンが 8,000 円ということで、前年比 3,000 円の減です。生活もできない状況になっている。コロナの影響でいろいろなところにしわ寄せが来ている。今後どうやって改善していくかと言うときに、最後の最後の土壇場になって、この 2 年の成果がこのような状況になっている。ただ、金ケ崎は工業団地も頑張っていて、それなりに維持してきているとは思いますが一次産業についてはかなり打撃だと思う。

**【D 委員】**

・先ほど質問がありましたが、何で住みやすさが落ち込んだのかなと感じていました。

**【E 委員】**

・ワクチン接種会場に託児所がない、預けて接種は難しい世帯もある。沿岸の方では託児団体があるということで安心して接種を受けることができているという話でした。そういうのがあると特色のある町になるのかなと思う。考えていただけるといいなと思う。

・リサイクルの件ですが、自治会でのリサイクル率が低くなってきているということですが、時間が決められて人がいるところに持っていかないといけないので出しにくい。前日の夜から出せるとか、無人の状態でも出せるというのであれば増えると思います。イオンなどは 24 時まで出せる状態なので気軽な感じがあるので、そちらに出してしまうと思う。

**【会長】**

・今のリサイクルの問題も、ずっと同じような指標を作っていたわけですよ。イオンとか業者が入ってきてポイントが付いてくるような形になって、自治会で集めて軽量して報告するようなスタイルの体制が取れなくなっている。多分、おそらくこのような状況になったときに、これが指標として意味があるのかというところを検討しなければいけない。あと、金ケ崎だけにとどまらないのですが、11 次の時もある程度考えましたが、やっぱり指標の作り方というのが、どこの自治体もかなり致命的である。一面的に 1 対 1 の指標でいいというケースもあるのですが、例えば、コロナの接種に行くには、どのような条件が整えば行きやすいのかという指標がないわけですね。様々な指標があったときにどのような指標やサービスが必要なのかということもきちんと考えて行かなければならないわけで、単純に 1 つや 2 つではなく、多

元的な指標を考えていかないと、どこに政策を打ったらいいいのか、どういう事業を展開したら良いのか分からない。第11次を考えるともう少しアドバイスできればと思います。

(2)「地域再作計画」の取組状況について

【F 委員】

・健康の駅というのは、保健センターとみどりの郷の2カ所と言うことでよかったですか。

【高橋事務長補佐】

・健康の駅としてはみどりの郷だけです。保健センターには体組成計があるということです。

【G 委員】

・健康増進のための器具は、駒子の湯とか森山とかそれなりに置いているところもあるが、ポジションはどうなのかなと感じました。もう1点は、健康ポイントのことで、何かの資料で枠に余裕があると聞いたが、体育協会や老人クラブがやっている事業で健康に関する事業をやっているが、そう言ったものも広く取り組んでもらえると、違った年代層の人も参加できるのではないかなとの思いがあります。例えば、金ヶ崎マラソンに参加した人とかですね。あるいは、ウォーキングとかサイクリングロードを使ったり、いろいろな視点が捉えられると思うのですが、その枠を広げられる可能性はあるのですか。

【高橋事務長補佐】

・今年度は目標の500人に対して464人ですので、令和3年度については36人  
・特に町民であれば誰でも参加できますので、たくさんの方々に参加していただきたいと思います。今後は、老人クラブに集中的にPRするなど参加者の拡大をはかっていきたい。今年度の目標は500人ですが、3年後には1,500人の町民の参加を求める事業ですので、どんどん参加していただきたい。

・健康の駅の整備する中での駒子の湯や森山スポーツ事業団の位置付けですが、このような施設があったからこそ介護保険料が県内で一番安いなどの成果が達成できた要因であると思っております。健康の駅については、気軽に立ち寄って健康に対する知識を深めるような啓発の部分が目的となっています。高齢者の孤立を防ぐとか、気軽に立ち寄って健康の知識を得るなどの役割を担うこととなります。

【H 委員】

・健康ポイント事業には80歳以上の人をターゲットにしているが、実際に80歳以上の方が、どうやって健康の駅まで行ったらいいのだろうという問題がある。考えてあげないと。

【高橋事務局長補佐】

・佐藤委員のご指摘のとおりでございます。生活の不自由さについても交通のことがあげられており、大きな原因になっています。デマンド交通なども考えていかなければいけない。

【I 委員】

・先ほど議題になりました地域再生計画に、外部の第三者組織で評価すると書かれて

おりますが、今の内容で評価したことになりますか。

**【事務局】**

・今年度スタートした事業ですので、今年度は事業の進捗状況と参加者 500 人という目標の 8 割が参加し、KPI を達成したことの報告となります。

**【J 委員】**

・コロナ禍、デジタル化により対応する部分も変化してきているなど感じた。

**【K 委員】**

・コロナの関係で図書館等が閉まっていると多くの高齢者の方々から言われます。それだけ多くの高齢者が図書館に通っていたんだと感じます。コロナが収束すると思うので、音楽、演劇、歌舞伎などを町のホールを充実して金ケ崎で見聞きできればいいと思いますし、金ケ崎で難しいのであれば足を考えるなどして北上や水沢に行つて、精神的に満たされた金ケ崎人になりたいなと思いました。

**【会長】**

・私が気付いたのは、資料 3-1, 3-2 の進捗率のところでは 766%と書いてありますが、いるのかなと思います。これ書かれてもどういう意味なのかと考えてしまう。あまりなくてもいいのかなと。説明だけでいいのかなと思います。これも第 11 次のほうに取り込んでいく考え方に立っておりますので、11 次のほうで、どのように展開していったのかなという部分を評価できればいいと思います。10 次総括と 11 次の初年度がどのように推移しているのかが分かるといいと思います。

以上